

地域全体のワクチンの接種率を高め、感染への収束を願う ～全国的にめずらしい モスクでのワクチン接種～

市は、7月9日（金）「第26回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、モスクでのワクチン接種を行うことを決定しました。

これは、言葉の壁などの理由でワクチン接種が受けられない人をなくし、地域全体のワクチン接種率を高めることで、感染への収束につなげるために行うものです。

市の集団接種会場の予約は、日本語でしか予約ができず、言葉がわからないために会場へも行きづらいことから、外国人が定期的に集まるモスクに海老名市医師会が出向き、希望する方に接種を行います。

モスクを利用する人は、海老名市のほか綾瀬市、座間市など含めるとおよそ1,200名いますが、先行して海老名市在住の方から接種を進めていき、今後のワクチンの供給量により対象を広げていく予定です。

- | | | | |
|--------|--|-------|-------|
| 1 接種開始 | 令和3年7月31日（土）から | | |
| 2 接種場所 | 海老名マスジド（海老名市上郷三丁目12-1） | | |
| 3 対象者 | 約1,200名
（海老名市 約250名、綾瀬市 約500名、座間市 約250名、
その他 200名） | | |
| 4 実施体制 | 海老名市医師会 | 医師 | 1名 |
| | | 看護師 | 1名 |
| | 海老名市 | 救急救命士 | 1名を予定 |

■ ワクチンの供給量の減少に応じて、集団接種会場の予約枠を変更し、接種継続

ワクチンの供給量が大幅に減少し、8月・9月の供給も十分に見込めないことが国から示されたため、集団接種会場の予約枠を変更して、ワクチン接種を継続することを決定しました。1会場1日500名～600名程度だった集団接種会場の予約枠を100人～200名程度にとどめることで、接種を継続します。

なお、ワクチンが十分に供給され次第、予約を前倒しするなどの対応をしていきます。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市保健福祉部健康推進課 電話046・235・7880

